

子供達が幸せに過ごせますように

武生第三中学校二年 湯 浅 眺 生

僕がこの作文を書きたいと思った理由は、最近ニュースやSNSで、中学生が薬物に手を出しているという事を知ったからです。僕自身、薬物とは何なのか、薬物は普通の薬と一緒にではないのかと、全く分かっていない事でした。薬物は高いお金で手に入ると書いてありましたが、中学生なのに、なぜそんなお金があるのかも疑問でした。

SNSで見かけた中学生のお母さんの投稿を見て、僕は体が震えたのを覚えています。その内容には、本人じゃなく周りが傷つく事、周りの人の支えがどれだけ大切なのか分かりました。

その子は、中学三年生の時、勉強、スポーツと何でも出来る子だったそうです。スポーツの関係で知り合ったお兄さん達が優しくしてくれて、車も乗っているという事で、よく連絡をとるようになったそうです。そのせいで、勉強も進まなくなり受験前になるとピリピリしていたそうです。その時に、お兄ちゃん達から

「受験なんて、これやってれば乗り切れるよ。」

と薬を渡されたそうです。嬉しく思ってしまった全く怪しむ事もなく、薬を使用してしまい、それからは薬が効いている時は、楽しく過ごせたそうです。でも、恐れた事は、薬が効いていない時でした。何回かしてしまつてから、自分が優しいと思っていた人達から、

「もうタダでは無理だ。親のお金を財布から取つてこい。」

そう言われるようになったそうです。お母さんは、よくお金がなくなる事と、何でも挑戦していた息子がスポーツをやめ、勉強もやらない、そんな姿に怒りがたまり、夜中に出ていく姿を目にしたので後をつけたそうです。夜中の公園はとても静かで、でもその中で何かをしている姿だけは、しっかりと見えたそうです。お母さんは信じる事ができず、頑張っていた息子の顔しか思い出せないくらい辛かったそうです。息子に声をかけ何も言わずに連れて帰った後、冷静になるのを待ち話したそうです。お母さんは仕事を辞め、息子に付き添う事を決めました。それからあばれだしたり、さけんだり毎日、死んでしまいたい程、周りの人が大変だったそうです。お父さん、お母さん、友達が協力して、今では普通の生活をしています。後遺症は少し残っているそうです。長い闘病生活は幸せだった頃の何十倍も辛かったみたいで、昔に戻つてやり直せるなら、

「高校へ行きたい。笑っていたい。」

と答えたそうです。

僕はこのSNSを通して思った事、感じた事は山ほどあります。この世から犯罪や薬やいじめはなくなる事はないと思つてます。国がどれだけ良くなつてもなくなる事はないと思います。それは人それぞれ性格や環境が違うからです。僕は幸せ者だなと感じる事ができます。辛い事があつても、乗り越えられる事なら、これからも辛い事にも逃げずに周りを幸せにしてあげられる人間になりたいです。この命は一つしかなく、いつまで続くかも分からない中、人を支える事は簡単です。言葉で左右されてしまう世の中は本当に悲しいです。もつとSNSを通してこの様な体験を広めていけたらいいなと思いました。